



いすぐみだより

きらら保育園 令和7年3月31日発行



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。明日からはうさぎ組になる子どもたち、この一年で大いに成長しました。歩き出したばかりのヨチヨチ歩きだった子どもたちは、今ではお部屋だけでなく外でも走り回っています。言葉が出なかった子どもたちは、今では「せんせ〜い来て〜」と言ったり、お友だちの名前を呼んだり、会話もとっても上手になってきました。出席シールも最初は保育者が貼っていましたが、「今日はここだよ」と貼る場所を教えると、自分で貼って、保育者のところまで持ってきてくれます。また「あ〜あなたのお名前は？」と聞くと「〇〇です」と自分の名前を答えてくれるようになりました。給食の時もお友だちの分が配膳されるのを待って、みんなで「いただきます」をしたり、終われば歯磨きを自分からしたりできるようになりました。夏祭りや、運動会、ハロウィン、クリスマス会など楽しい行事もあり、一つ行事が終わるたびに成長していったように思います。お友だちとのかかわりも多くなり、楽しいことも増えた一方で、おもちゃの取り合いがあったり、お友だちを叩いてしまったりなどのトラブルもありました。その中で「ごめんなさい」や「貸して」なども覚えて、お友だちと同じ遊びをして楽しめるようになり、笑顔がいっぱいのクラスでした。ここに書ききれないほどの成長を側で見守りながら、一緒に過ごしたこの一年は言葉に表せないほど幸せな時間でした。

保護者の皆さまにも一年間ご協力いただき、本当にありがとうございました。



担任 堀 照代

フルーチェを作って食べたよ

先日クッキングをしました。椅子に座って保育者の説明を聞いて、それから一人ずつまぜまぜしました。「順番にまぜまぜしようね」と話すと、しっかり待ってお友だちが混ぜ終わるのを待っていました。すぐ食べたいのを我慢して「美味しくなるように冷蔵庫に入れておくね」と話し、午後のおやつ時間に美味しくいただきました。



元気いっぱいなのりす組さんでした